

## 「やさしい日本語」講座（上期）開催結果について

市内で在住外国人が増加する中、市民（日本人）と在住外国人がお互いにコミュニケーションを円滑に行うために有効とされている「やさしい日本語」の活用を促進し、外国人をはじめ誰もが働きやすく、暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指すことを目的とする。

○実施日時 令和6年7月27日（土）13：30～15：00

○開催場所 高山市役所 地下市民ホール

○対象者 在住外国人を含む市民向け 募集定員は30人程度

○講師 岐阜県多文化共生推進委員 糸田恵子 協力：高山市民防災研究会

○内容

- ①やさしい日本語の説明
  - ・高山市の在住外国人の人数などの現状
  - ・必要とされる理由や事例などの説明
  - ・やさしい日本語の作成方法
  - ・クイズ形式で「やさしい日本語」への言い換えグループワークの実施
- ②災害時の助け合い
  - ・令和6年1月能登半島地震での外国人への対応について事例紹介
  - ・どのように言い換えたなら伝わるのかグループワークとグループ発表

○参加者 37人（うち8人外国人）

○周知方法 広報たかやま7月号、市ホームページ、HitsFMでの案内  
日本語講座受講生、英会話スクール受講生への案内  
チラシ配付（高山市図書館、高山市勤労青少年ホーム含む14箇所）

○アンケート結果（25件）

- ・やさしい日本語について よくわかった・わかった100%
- ・身近な外国人にやさしい日本語を使ってみようと思った100%
- ・災害時のやさしい日本語について すごくよくわかった・わかった96%
- ・災害時にやさしい日本語を使ってみようと思った100%
- ・今後役立つ 大変役立つ84%

○成果 「やさしい日本語」について初めて学ぶ人が多く、講義やグループワークに熱心に取り組んでいた。また、グループごとに避難所での掲示物を「やさしい日本語」に置き換えるワークのほか、在住外国人を紹介する発表もあり、交流にも繋がった。

○課題 在住外国人のなかで技能実習生の占める割合が高いため、技能実習生を雇用している企業への周知を行ったが、参加は1名であった。関係する機関や団体との連携を強化して周知を図る必要がある。